

和・洋菓子が並ぶ明るい店内



小池菓子舗

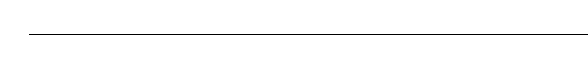
(にかほ市金浦字十二林192-3)
時間：9:00～18:00
※日曜、祝日は9:00～17:00
定休日：毎週水曜日
問合せ：☎38-4010



応募方法
記入事項

応募期限
応募先

ハガキ、FAX、QR (申し込みフォーム)
発行号、郵便番号、住所、氏名、年齢、性別、電話番号、『広報にかほ』への意見・感想等を記入
11月25日(水)
〒018-0192
にかほ市象潟町字浜ノ田1
にかほ市役所
「広報にかほプレゼント係」
FAX 0184-62-9013 QRコード
※当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。



前回は過去最高の応募総数となり、皆さまからのたくさんのご応募と貴重なご意見に厚く御礼申し上げます。15回目の今回は金浦地域の老舗・小池菓子舗さんを紹介しします。大正12年(1923)に和菓子製造小売業として創業、現在の3代目・小池嘉信さんが修行から戻り店を継いだ際に洋菓子を始めました。そして、息子である4代目・信弘さんを中心に伝統の味を守り続けています。大竹のいちじくなど地元食材にこだわり、素材で値段もリーズナブル。敷居を低くして気軽に入りやすいお菓子屋さんとして、地域の方々との触れ合いを大切にしてきました。

信弘さんは、「時代の変化やお客様のニーズにこころを配るよう、これからも新しいお菓子作りにも挑戦し続けていきます！」と熱い想いを語ってくれました。今回、小池菓子舗さんから、にかほの魅力が詰まった「和・洋菓子セット」を5名様にプレゼント！サクサクのシュー皮にカスタードがたっぷり入った看板メニュー「鳥海山麓窯出しシュー」も絶賛販売中です。

※写真はイメージです。実際のセット内容とは異なる場合があります。



にかほの魅力が詰まった「和・洋菓子セット」を5名様にプレゼント！



千客万来 にかほ本舗

広報で伝える市内店舗の魅力(商工会加盟店の紹介と人気商品の読者プレゼントコーナー)



鳥海山・飛島ジオパーククリエーターコラム ～日本海と大地がつくる水と命の循環～

vol.71

『日本海拡大と東北日本の回転』



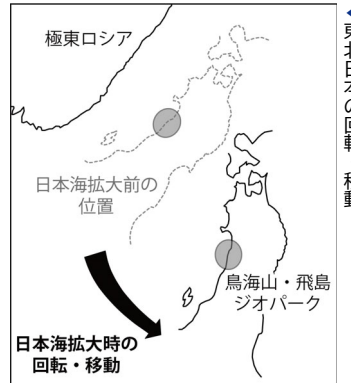
愛知教育大学
自然科学系(地質学専門)
教授 星 博幸氏

日本列島はかつてアジア大陸の一部でした。しかし2000万年前頃に大陸東縁で大地が横に引き延ばされる地殻変動が活発になり、大地の一部が分裂・移動し、1600万年前頃に現在の位置に達したと考えられています。その分裂・移動によって大陸と日本列島との間に日本海が誕生しました。

分裂の痕跡は地層に記録されており、地質学の方法で地層を調べると日本海拡大に伴う大地の隆起や沈降、海水の侵入の様子などがわかります。秋田県や山形県にも当時の地層が分布しており、それらは日本海拡大の重要な情報を記録しています。

大地の横方向の動きは、地層に記録されている

過去の地磁気(古地磁気)の研究から推定できます。地磁気があるため私たちは方位磁針を使って北を知ることができますが、地層に記録されている古地磁気の北を調べると現在の北と一致しないことがあります。そのずれが大きい場合、それは地層形成時から現在までの間に大地が回転したことが原因と考えられるのです。この原理を使って、日本海拡大時に東北日本全体が反時計回りに40度ほど回転したことが判明しました。私たちの足元の古い地層や岩石はそうした激動を受けてこの地にやってきたものなのです。



東北日本の回転・移動

東京オリンピック・パラリンピック ホストタウン計画

東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、全国の自治体が大会参加国、地域の選手を受け入れ、交流する機会を作る「ホストタウン事業」に取り組んでいます。本市では、国から紹介された11カ国の未登録国からホストタウン提携の可能性を探り、「リベリア共和国」との登録を計画しています。リベリアの選手や国民の応援・交流を通じ、SDGsについてできることを考え行動しましょう。

☎ スポーツ振興課 ☎ 33-8855

東京2020大会ホストタウン パートナーシップ協定 2020 TOKYO GAMES HOST TOWN PARTNERSHIP AGREEMENT

9月24日、にかほのほかに(旧上郷小学校)で、リベリア共和国大使館と東京2020オリンピック・パラリンピックホストタウンパートナーシップ協定の締結式が行われました。オンライン締結式では、



サインした協定書を手に画面越しに確認する市川市長



同じく画面越しに協定書を見せるブラモーン閣下(左下)

市川市長と駐日リベリア共和国大使・ブラモーン閣下が署名した協定書をそれぞれ画面越しに見せあい締結を確認しました。本協定を受け内閣官房オリパラ競技大会推進本部より正式にホストタウン登録が決定され、選手の受け入れから市民との触れ合いなど、さまざまな交流事業が進められていきます。

バリアフリーマップを作ろう!

10月3日、スポーツ宿泊センターで市内スポーツ施設のバリアフリー調査とワークショップが行われました。参加者は体育館などを回り、車イスに乗るなど障がいがある人の目線に立ちバリアフリーマップを作成。東京2020大会では、パラリンピアンとの交流を機に、誰もが使いやすい施設や心のバリアフリー推進に取り組みます。



▲車イスで段差をチェック ▲バリアフリーマップ作り

ドキュメンタリー映画
『リベリアの白い血』

リベリア共和国の日常を追ったドキュメンタリー映画『リベリアの白い血』。ぜひご覧ください。

期日 12月26日(土)
時間 13:30～
会場 仁賀保勤労青少年ホーム

※チケット等の詳細は、今後の広報でお知らせします。